

F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DS86

ダイアボンドDS86は、ポリエチレンフォームやウレタンフォームなど断熱材の接着に優れたSBR系の接着剤で、折版屋根用断熱材の機械塗布ローラーコート接着に適しています。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. ポリエチレンなどポリオレフィンフォームへの密着性に優れます。
3. 速乾性で、タックが長く、作業性に優れます。
4. 低粘度で、ローラーコートでの断熱材面塗布用に調整されています。
5. 皮膜は淡色のため、はみ出しが目立ちにくいです。

§ 用途

1. ポリオレフィンフォーム（ポリエチレンやポリプロピレン）相互やポリオレフィンフォームと各種材料の接着
2. ウレタンフォームなど断熱材の接着
3. 折版屋根断熱材の接着として、鋼板とポリエチレンフォーム、無機質高充填フォーム（フネンエース、ハイエチレンスーパー）の接着
◆ただし、断熱材の厚さは、5mm以下にしてください。
4. その他 繊維、皮革、紙の接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	スチレンブタジエンゴム	
外 観	淡黄色	
不 揮 発 分 (%)	23.5 ± 1	
粘 度 (mPa·s) at20°C	100 ~ 500	
指触乾燥時間 (分) at20°C	1 ~ 3	
粘着保持時間 (分) at20°C	50 ~ 60 [両面] 10 ~ 20 [片面]	鋼板対ポリエチレンフォーム
保 証 期 間 (月) at25°C	12	
引 火 点 (°C)	-17	
発 火 点 (°C)	240	

§ 使用方法

1. 前 処 理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し，汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 ロールコーターやスプレーで被着材の両方または片方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は，両面塗布の場合：片面当たり 150～200 g/m² (両面で 300～400 g/m²)
塗布して下さい。
片面塗布の場合：200～300 g/m² 塗布して下さい。
・スプレーガンの口径：2～2.5 mmφ ・エア圧：0.3～0.5 MPa
3. はり合せ 両面塗布の場合は，常温にて 5～30 分間乾燥してからはり合せます。
片面塗布の場合は，接着剤塗布後，常温にて 2～5 分以内にはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後，充分に加圧して接着します。

《折版屋根用断熱材の接着の場合》

1. 塗布方法 ローラーコートで断熱材面に塗布して下さい。
塗布量は，ポリエチレンフォーム，無機質高充填フォームに 60 g/m²以上塗布して下さい。
2. はり合せ 50～70℃で 10～30 秒加熱乾燥して，ただちにはり合せて下さい。
3. 加 圧 ピンチローラーにて充分に圧着して下さい。

§ 接着強さ

1. はく離強さ (N/25mm)

		PU・F/TM	PE・F/鋼板	フネンエース/鋼板
常 態	1 時間	12 *	8 *	3 *
	24 時間	14 *	8 *	3 *
	48 時間	14 *	8 *	3 *
	96 時間	14 *	8 *	3 *
熱老化	80℃・240 時間	14 *	8 *	3 *
耐 熱	80℃	6 *	5 *	2 *
耐 寒	-20℃	14 *	8 *	3 *
耐 水	240 時間	12 *	7 *	3 *

*：材質破壊 PU・F：ウレタンフォーム TM：アクリル塗装鋼板

PE・F：ポリエチレンフォーム

試験方法：JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	75 ～ 80 °C
3 日 目	77 ～ 82 °C
10 日 目	78 ～ 85 °C

試験方法：JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。